

平成30年度事業報告

<概況>

任期満了に伴う役員改選で、理事11名と監事2名が就任。鈴木恒夫代表のもと、新たに森本弘道理事と小林和明理事2名が副代表に就任した。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、昨年度、理事会内に設置した東京オリンピック・パラリンピック準備委員会で継続して協議を続けた結果、「伝えよう日本の心プロジェクト」を立ち上げ、全国に先駆け山形県と三重県であいさつ運動をスタートした。

当運動本部が発足した翌年、昭和39年に東京オリンピックが開催され、オリンピック会場や選手村で「小さな親切」実行章の推薦を呼びかけたことから、2度目となるオリンピックで半世紀を超えて日本全国で運動を推進してきた日本の心＝親切、思いやりを訪日外国人に発信することは、運動方針に掲げる「蘇生」と「親切」につながる取り組みと位置づけられる。

一方、会員数は会員の高齢化等により減少傾向にあり、会員数は172,229名（内訳：個人正会員102名、個人寄附会員16名、法人正会員31法人、法人寄附会員17法人、個人会員1,153名、地方賛助会員6,864名、団体会員109,555名、学校会員54,491名／平成31年3月31日現在）。運動の実践団体である地域組織は、33道府県本部・139市町村支部で、地域に根差した活動を推進した。

1. 平成30年度運動方針

日本の美風の「蘇生」と「新生」

2. 平成30年度重点活動

作文コンクール、はがきキャンペーンの応募者の拡大を図ることを通じて運動の啓発をはかり、その意義を浸透させる

公益目的事業 1 「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

- 年間受章者数 45,765名

実行章受章者累計数 5,906,210名 /平成31年3月25日発表

- 受章者が590万人を突破 /平成31年2月25日発表

590万人目は「劇団四季」。推薦者は青森県本部

東日本大震災を機に、被災地で無料公演を開催し子どもたちを励ます活動を展開。

実行章伝達式を開催

と き 平成31年2月14日（木）14:00～

ところ 四季芸術センター（神奈川県横浜市青葉区あざみ野1丁目24番地7）

出席者 受章者 佐々木典夫 代表取締役会長
吉田智誉樹 代表取締役社長

運動本部 鈴木代表、職員 2 名
氣田青森県本部事務局長（実行章推薦者）
小林義孝神奈川県本部事務局長

○ 実行章アンケート

29 年度より、実行章のもたらす効果を分析するとともに、運動を知ってもらい賛同者になってもらうことを目的に実施。当該年度から対象者を大人（高校生以上）の個人と団体のみに変更。

〔平成 30 年度アンケート結果概要〕（41 ページ参照）

- ・地域組織の活動の成果か、「小さな親切」運動を、活動まで含めてある程度は知っていた方が個人受章者で 50.0%、団体（代表者）で 43.6%であった。
- ・活動が評価されたことについて、個人、団体とも「うれしい」などのプラス感情を持つとの回答が多い。
- ・受章者が、推薦者となり得るかを確認した質問では、「ぜひ推薦したい」（個人 33.3%、団体 16.7%）、「機会があれば推薦したい」（個人 48.6%、団体 73.1%）との回答が多かった。

○ 実行章バッジ

1) 販売価格を 15 円値上げし、1 個 150 円（税込・送料別）に変更。

販売数 2,509 個（大人用 549 個、子ども用 1,960 個）

購入者内訳 11 県本部・8 支部・学校、受章者、会員、推薦団体など

2) 子ども用実行章バッジ（チイエンジェル・ビックリオネ）のキャラクター使用期限が当該年度末に迫っていることから、第 37 回理事会（9 月 7 日）にて審議し、大人用・子ども用 2 種類だった実行章バッジを大人用 1 種類に統一することに決定。平成 31 年 4 月 25 日発表より使用を開始する。

○ 作文応募者に実行章贈呈

作文コンクール二次審査で選外となった作品の中から「親切を実行した」ものをピックアップし、特に審査員の心を打った作品の筆者に全国表彰式で実行章を贈呈。

<個人 5 名>

柳澤 亜梨沙	千葉県	鎌ヶ谷市立中部小学校 1 年
高原 瑠梨	広島県	呉市立広小学校 4 年
福山 凜桜・乃彩	福岡県	行橋市立今川小学校 2 年・3 年
八木 翔馬	東京都	福生市立福生第二中学校 1 年

<団体 1 件>

山形県高島町立亀岡小学校

○ パンフレットをリニューアル 10,000 部

2. 第 43 回「小さな親切」作文コンクール

○ 応募総数

1) 応募総数 46,323 編。中学生は応募数、応募学校数ともに増加したが、小学生の応募数の減少が響き、全体では昨年より約 700 編の減少。

2) 都道府県別応募総数ベスト5

1位：福井県(6,856編)、2位：千葉県(5,617編)、3位：静岡県(5,257編)、
4位：長野県(5,138編)、5位：福岡県(3,957編)

○ タイトルを変更

当該年度より、小中学生のより自由な発想の作文を募るため「私のした、みた、うけた、できなかった親切」のサブテーマを外し、メインテーマ「小さな親切」のみに変更。その結果、スーパーボランティアの尾畠春夫さんやサッカーワールドカップでの日本サポーターのゴミ拾い、あいさつや言葉の大切さなど、幅広いテーマの作文が寄せられた。なお、特別テーマは設定せず。

○ 盗作問題

優秀賞受賞者が盗作により、受賞を辞退。インターネットにより多種多様な作文コンクールの入賞作品の検索が可能となったことから、盗作の増加が想定される。対策として、上位賞は入賞発表前に学校および本人に確認する。

〔実施概要〕

後援	内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社
協賛	カシオ計算機株式会社 株式会社サクラクレパス
テーマ	「小さな親切」
応募資格	小学生・中学生（小・中学生と同じ学齢のものを含む）
応募方法	1) 400字詰原稿用紙3枚以内。題名、氏名（ふりがな）・学年・性別・学校名・学校住所を明記。なお、地域組織・学校等でとりまとめて応募する場合は、応募添付所に学校名・住所を記入するのみで可。 2) 地域組織・学校でとりまとめて応募する場合は、必ず選考を行う地域組織は賞名を明記し上位作品を応募する
副賞	運動本部：メダル、文房具（クリアファイル・ボールペン） カシオ計算機(株)：腕時計、電子辞書、電波時計 (株)サクラクレパス：蛍光ペン5本セット
締め切り	9月21日（金）必着
審査	第1次審査：9月25日（火）～10月2日（火） 第2次審査：10月8日（月）
審査会（最終審査）	10月24日（水） 審査委員5名（内閣府大臣官房総務課管理室長ほか）
応募総数	46,323編 / 内訳：小学生740校 11,395編 中学生796校 34,928編
入賞・入選者数	129名 (内訳：大臣賞2名・運動本部賞2名・特別優秀賞6名・優秀賞19名・入選100名)
要項・入賞発表	毎日新聞 / 5月17日（木） 11月15日（木） 教育新聞 / 6月21日（木） 12月6日（木） 情報誌『小さな親切』春号・平成31年新春号、WEBサイト
表彰式	平成30年11月24日（土）全国表彰式席上 出席者234名（入賞・入選児童生77名・家族157名）
作製物	ポスター4,700部 要項チラシ8,000部

3. 青少年すこやか育成事業 < (公財) JKA 補助事業 >

○ 〈工作教室〉〈声優による紙芝居〉の実施地域を全国に拡大

これまで東日本大震災や熊本地震の被災地を対象として実施してきたが、子どもたちの心づくりに垣根なく取り組もうと当該年度より全国で行うこととし、宮崎県、新潟県で初めて開催した。

〔実施概要〕

1) 小学校向け

①オリジナル紙芝居『まつりのひ』を用いた授業の実施

講 師	馬場喜久雄 (全国小学校道德教育研究会顧問) 宮島 盛隆 (白百合女子大学講師)
準 講 師	五味佑理子職員
実 施 校	4 校

平成 30 年

7 月 12 日 (木) 山形県新庄市立萩野学園 参加者：4 年生 45 名
講 師：馬場喜久雄 準講師：五味職員
参観者：山形県本部、新庄の会

11 月 1 日 (木) 山口県周南市立沼城小学校 参加者：3 年生 2 クラス
講 師：馬場喜久雄 準講師：五味職員

11 月 5 日 (月) 埼玉県新座市立東野小学校
・紙芝居 参加者：3 年生 3 クラス
・事後研究会 参加者：約 30 名
講 師：馬場喜久雄 準講師：五味職員

平成 31 年

2 月 4 日 (月) 東京都杉並区立四宮小学校 参加者：3 年生 4 クラス
講 師：馬場喜久雄、宮島盛隆

②工作教室

と き	平成 30 年 9 月 4 日 (火)
と ころ	宮崎県都城市立明道小学校 参加者：4 年生
講 師	有賀 忍 (板絵画家・江戸川大学こどもコミュニケーション学科客員教授)
テ ー マ	「イライラを楽しむ」ビー玉バランスボード製作&遊び
参 加 者	運動本部／小林和明副代表 五味職員 今野職員 地域組織／都城支部代表ら役員

③声優による紙芝居上演

と き	平成 30 年 6 月 26 日 (火)
と ころ	新潟県長岡市立深沢小学校
参 加 者	全校生 42 名、保護者および地域住民
講 師	永澤菜教 (ケッケコーポレーション所属 / 「ちびまる子ちゃん」ブー太郎役)
上 演 作 品	『やさしいところ』『へっこきよめ』『さらやしきのおきく』

2) 幼児教育プログラム試作品完成

有賀忍氏に監修及びイラストを依頼し、幼児向け教材として『おはなしメモリーゴーランド』試作品を製作。杉並区立子供園 (幼児の教育・保育を一体的に行う施設) にて試作品を実演した。一部修正を行い、令和元年夏に完成予定。

試 作 品	W 約 250mm×H 約 170mm (外寸) 日常にある場面を切り取ったイラスト 4 枚を背中合わせに貼りあわせ、ページをめくると回転するような形状に仕上げる。
内 容	演じ手 (大人) と、登場するキャラクターの場面ごとの心情などについて会話をしながら、話を読み進め、「あいさつ」「感謝の気持ちを伝える」「友達と仲よくする」ことなどの大切さを学ぶ教育資材。文字はなく、子どもたちの自由な発想を引き出す工夫をしている。
実 演	
と き	平成 30 年 12 月 13 日 (木)
と ころ	東京都杉並区立高井戸西子供園 / 4 歳児 担当 : 山口優香先生

3) 専用 WEB サイトを通じた教育活動

各活動の当日の様子や、参加者の声などをレポートにして終了後、随時掲載。廃材を利用した新しいおもちゃの作り方動画を公開するとともに、子育て世代に向けた各専門家によるコラムも掲載。

4. みんなつながる トモダチ作戦

- 昨年度まで活動推進グッズ及び送料は無料だったが、当該年度から、WEB サイトより直接運動本部に申し込みのあった実施団体には、送料 (600 円) のみ請求した。
- 東京 2020 応援プログラム認証事業「伝えよう、日本の心プロジェクト」の一環として、「東京 2020 応援マーク」入りの活動推進グッズを新たに作成。次年度からの本格実施に向け、モデル地域 (山形県、三重県) を定め、グッズの提供を行った。

〔実施概要〕

1) あいさつ推進グッズ・活動事例集の無料提供

《通常推進グッズ》

提供箇所	125 箇所
配布物	のぼり 623 枚
	たすき 2,243 枚
	ポスター 874 枚 (2 枚×2 種)
	活動事例集 183 冊

※1 団体につき、のぼり 3 本、たすき 10 枚、ポスター 2 種各 2 枚、活動事例集 1 冊を基本とした。

《東京 2020 応援マーク入り推進グッズ》 (山形県、三重県など)

提供箇所	110 箇所
配布物	のぼり 385 枚
	たすき 1,284 枚

ポスター 518 枚

※1 団体につき、のぼり 3 本、たすき 10 枚、ポスター 4 枚を基本とした。
なお、希望のあった学校にはのぼり旗用のポールとスタンドを寄贈した。
※《通常推進グッズ》、《東京 2020 グッズ》ともに、大規模校の場合など、
要望があれば 1 セットの基本数を超えての提供可とした。

2) 活動事例の紹介

春号：広島県本部・広島電鉄株式会社・広島銀行（広島県）
専修大学玉名高等学校（熊本県）
秋号：JA 愛知厚生連足助病院（愛知県）

5. ことばの魔法プロジェクト

第 3 4 回「小さな親切」はがきキャンペーン

- 賞の変更を実施。
 - ① 最高賞の「大賞 日本郵便賞」を、主催者（運動本部）が贈呈することとし、名称を「大賞」とした。
 - ② 新たに「日本郵便賞」を新設。
 - ③ 特別枠を「審査員特別賞」に一本化。
- 応募状況
 - 1) 告知掲載回数及び媒体を増やした結果、一般応募、特に 10~20 代の若年層からの応募が増加。加えて、岩手と福井を除く全県から応募が寄せられた。
 - 2) 一般応募は増えたが、会員校の全校参加が単学年になるなど団体会員の応募が減少した結果、応募総数は昨年比 135 編減となった。次年度は、団体会員向けの参加呼びかけに工夫が必要。
- 感謝状を受ける

4 月 20 日（金）に開催された第 85 回郵政記念日中央式典（会場：帝国ホテル）にて、日本郵便株式会社より「はがきキャンペーンを通じて手紙振興に寄与した」と、感謝状を贈呈された。

〔実施概要〕

後援	日本郵便株式会社 読売新聞社
協賛	株式会社河出書房新社
テーマ	1) 心から伝えたい“ありがとう” 2) 「やだな！」自分だったら…
対象	子どもから大人まで
応募方法	はがき及び専用フォーム、メールで応募(いずれも 600 字以内)。 タイトル、住所、TEL、氏名、年齢、職業を明記
締め切り	9 月 7 日（金）当日消印有効
審査会	10 月 3 日（水） 審査員：日本郵便(株)本社切手・葉書室担当部長他 4 名
応募総数	2,193 編

入賞・入選者数	25名 内訳／大賞1名・日本郵便賞1名・読売新聞社賞1名・ 河出書房新社賞1名・審査員特別賞1名・入選20名
副賞	運動本部：文房具、書籍 日本郵便(株)：切手シートほか 読売新聞社：図書カード (株)河出書房新社：書籍
要項・入賞発表	読売新聞／ 4月27日(金) 11月7日(水) レターパーク5月号・公募ガイド6・9月号 運動本部WEBサイト
表彰式	情報誌『小さな親切』春号・平成31年新春号 平成30年11月24日(土) 全国表彰式席上 出席者20名(入賞・入選者11名・家族9名)
作製物	応募要項チラシ 9,500部

6. 平成30年度「小さな親切」運動全国表彰式

- 連休の中日の開催となったが、全国から多数の参加者が来場。

〔実施概要〕

後援	内閣府 文部科学省 NHK
とき	平成30年11月24日(土) 12:30～15:30
ところ	東京・霞が関ビル35階 東海大学校友会館
参加者	約330名
プログラム	司会 石井麻由子 (NHK アナウンサー)

【表彰】

「小さな親切」運動推進功労者内閣官房長官賞 / 5名

澤田 隆一 (70) 北海道本部副代表
植草 完 (64) 千葉県本部副代表
戸田アイ子 (86) 広島県府中支部前代表
江夏由宇子 (72) 宮崎県都城支部副代表
長谷川清一 (66) 「小さな親切」運動特任推進委員

「小さな親切」運動大賞 / 1団体

「小さな親切」運動福島県本部

「小さな親切」運動賞 / 3団体・個人2名

「小さな親切」運動栃木支部 (栃木)
「小さな親切」運動須高支部 (長野)
有限会社ケッケコーポレーション (東京)
磯崎孝男 (77) 岩手県個人会員
川崎 登 (76) 香川県さぬき市寒川支部前事務局長

「小さな親切」実行章 / 5名・1団体

第34回「小さな親切」運動はがきキャンペーン

第43回「小さな親切」運動作文コンクール

【作品朗読】

作文コンクール内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞受賞者

【アトラクション】

『耳と心で感じるリーディングドラマ』

難波圭一さんとケッケコーポレーション所属の声優さん

7. 『小さな親切』誌の刊行 <(一財)日本宝くじ協会助成事業>

- メディアなどで話題になった「親切と健康長寿の関係」や、スーパーボランティア尾島春夫さんの取材等、一般の読者にも興味を持ってもらえるような紙面づくりを行った。また、困難な状況下にある途上国の子どもたちに関心をもってもらおうと、海外を中心に、日本の親切の心で医療活動を行う団体を紹介した。
- 柴田久・静岡県本部代表（静岡銀行代表取締役頭取）のインタビューを掲載。県代表へのインタビューは、地域の親切運動に関心と親しみを持っていただけるため、次年度以降も継続する。

〔実施概要〕

季刊発行 年4回（春号5月・夏号8月・秋号11月・新春号1月）

発行部数 年間延べ132,000部

8. 地域の輪・和・環プロジェクト（車椅子寄贈運動）

- 中央本部からの車椅子寄贈は昨年度で終了したことから、地域組織が自主的に行う車椅子寄贈活動のサポートを実施した。

〔実施概要〕

実施組織	12 県本部	16 支部
幹 旋 数	59 台（うち フルリクライニング 2 台）	
種 類	① U S G - 1（アルミ製） シートカラー：ブルー 自走式／介助ブレーキ（ドラム式）付／背折れタイプ キャスター6×22 インチ／座幅 40cm／前座高 43.5cm 全長 98cm／全幅 65cm／全高 86.5cm／重量 12 kg	
	② R R - 5 3 - N B（アルミ製） シートカラー：紺チェック フルリクライニング／自走式／介助ブレーキ（バンド式）付 キャスター7×16 インチ／座幅 40cm／前座高 45.0cm 全長 115（174）cm／全幅 62 cm／全高 122.0cm／重量 20.9 kg	
価 格	① U S G - 1	17,175 円（非課税）
	② R R - 5 3 - N B	61,163 円（非課税）
	③ プレート	2,000 円（非課税） 希望組織のみ

展開方法	①4月購入希望(台数及びプレートの有無)のアンケートを実施 ②6月に締切りA2Z(東京都文京区・ピジョンタヒラ代理店)に発注
贈呈期間	平成30年9月15日(土)～10月31日(水)
代金請求と入金	中央本部から11月に請求し、12月20日(木)までに入金

9. 日本列島クリーン大作戦(36回目)

- 当該年度は、台風など天候による中止が多かった。
- 8省庁が後援となっているが、実際に後援が必要な省庁、企業・団体はどのなのかについて地域組織にアンケートを行った。この結果をもとに、実情にそったものに整理・検討を行う。
- 活動報告書の提出を義務づけるとともに、雨等で中止の場合も中止の報告を提出してもらう。

[実施概要]

後援	内閣府、文部科学省、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁
協賛	日本たばこ産業株式会社、コカ・コーラ協会、 (公社)食品容器環境美化協会、スチール缶リサイクル協会、 (公財)日本環境協会、日本石鹼洗剤工業会
スローガン	美しい日本、美しい心
期間	平成30年4月1日(日)～平成31年2月28日(木)
ごみ袋	156,200部 <ごみ袋協力：日本たばこ産業株> (内訳：可燃用30ℓ 43,000枚・不燃用30ℓ 43,000枚・手提用12ℓ 70,200枚)
ポスター	1,400部

10. 日本列島コスモス作戦(30回目) <協力：タキイ種苗(株)>

- 当該年度よりコスモスにミニヒマワリを加え、オリジナル種子袋及び種子(コスモス：dℓ・ℓ/ミニヒマワリ：kg)の斡旋を実施した。これに伴い、ミニヒマワリのオリジナル種子袋を新たに作製するとともに、コスモスのオリジナル種子袋に記載の文言を一部変更。
- タキイ種苗より、来年度に向けてミニヒマワリ(グッドスマイル)の品種変更についての要請があり、ミニヒマワリのカテゴリーの中の「ビックスマイル」に変更することとした。

[実施概要]

発注数	①コスモス種子袋	37,665袋
	コスモス種子(dℓ・ℓ)	139dℓ・34ℓ
価格	②ミニヒマワリ種子袋	73,035袋
	ミニヒマワリ種子(kg)	1kg
価格	①コスモス種子袋	1袋 12円

	ミニヒマワリ種子袋	1袋	12円
	②コスモス種子 (dℓ・ℓ)	1dℓ	540円 ・ 1ℓ 5,346円
	ミニヒマワリ種子 (kg)	1kg	6,500円
発 送	4月中旬		
代金請求と入金	中央本部から5月に請求し、同月末日までに入金。		

11. 使用済み切手等寄贈

- 地域組織が取りまとめたものは、基本的に海外支援団体に直接送付し、一般からの寄贈分は運動本部で取りまとめ、支援団体に送付した。

寄贈先	(公財) ジョイセフ	…使用済み切手
	(公社) 日本キリスト教医療協会	…使用済み切手
	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター	…使用済みプリペイドカード

- 収集量の概算

1) 使用済み切手 約 315kg

プリペイドカード 3,065枚

※地域組織から直接支援団体に送付されたものについては、収集量が不明のこともあるため、上記は一部。

※全国的に協力者数や1件当たりの収集量が増え、大幅に増加した。

2) 収集された切手等は買い取られ、資金化される。

当該年度は、およそ 571,600円 (切手: 1,800円/kg、カード: 1.5円/枚※) に相当。

※換金価格はその都度変動する。

- 協力者氏名を WEB サイトに掲載。

地域組織 11件・企業 33件・団体 11件・学校 2件・個人 28件・匿名 6件
(中央本部に送付されたもの、報告があったもの/のべ件数) であった。

地域組織 (県本部・支部)					
北海道	北見支部	青森県	十和田支部	宮城県	宮城県本部
山形県	酒田の会	埼玉県	与野支部	長野県	長野県本部
京都府	京都府本部	香川県	香川県本部	熊本県	熊本県本部
企業・団体					
北海道	鐘ヶ江建設株式会社	北海道	株式会社サン園芸	北海道	株式会社中神土木建設事務所
北海道	株式会社ホテル黒部	北海道	北見信用金庫 本店営業部	北海道	北見信用金庫 卸町支店
北海道	北見石油販売株式会社	北海道	北見通運株式会社	北海道	国際ソロプチミスト北見みんと
北海道	三九建設株式会社	北海道	白川整形外科内科	北海道	北海道銀行 北見支店
北海道	北海道ガス株式会社 北見支店	北海道	北信興産株式会社	北海道	有限会社誠栄
北海道	置戸町役場	北海道	本覚寺	山形県	三和工業株式会社
福島県	福島県職連合	埼玉県	八十二銀行 熊谷支店	千葉県	新日本メンテナンス株式会社
東京都	三省堂印刷株式会社	東京都	東京大学出版会	岐阜県	株式会社松永製作所

静岡県	静岡県出納局 西部出納室	大阪府	マーカス経営会計事務所	大阪府	安藤忠雄建築研究所
大阪府	医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック	大阪府	社会医療法人仙養会 北摂総合病院	島根県	隠岐國商工会
岡山県	タチバナ工業株式会社 中国支店	岡山県	有限会社岡建	長崎県	平和建設興業株式会社

学校

愛媛県 四国中央市立新宮小中学校

個人

北海道 12名・秋田県 1名・群馬県 3名・埼玉県 1名・千葉県 3名・東京都 1名・神奈川県 3名・三重県 1名・福岡県 1名・鹿児島県 3名・匿名 6件

12. 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京はもとより道府県本部・市町村支部と共に全国各地で活動を行うことで、日本人の親切心を世界の人々に知ってもらう機会にしようと活動を展開する。
- 次年度から取り組みを企画していたが、気運が高まり、当該年度に補正予算を組み、モデル地域での活動をスタートした。
- 「みんなつながろトモダチ作戦」のみ、先行して「東京 2020 応援プログラム」の認証を得、モデル地域を定めて、新規作成グッズを活用したあいさつ運動を実施。
モデル地域：山形県長井市・米沢市・高島町ほか、三重県県下各地
- これらの活動の情報発信には、読売新聞の全面的なご協力をいただいております、12月9日山形県版に、モデル地域における全国初の動きとして、長井「小さな親切」の会（長井支部）から小学校へのグッズ寄贈の話題が、また1月15日付朝刊全国版には大きく運動の歴史、オリンピック・パラリンピックに向けた動きが掲載された。随時各地の活動を取りあげていただく予定。

〔実施概要〕

プロジェクト名	伝えよう、日本の心プロジェクト
事業内容	既存の5事業を、東京 2020 応援プログラム（組織委員会）の認証を得て取り組む。 1) 日本列島クリーン大作戦 2) みんなつながろ トモダチ作戦（あいさつ運動支援活動） 3) 「小さな親切」実行章 4) エッセイコンテスト はがきキャンペーン 5) 「小さな親切」作文コンクール

期間限定作製物・取り組み

- 1) 日本列島クリーン大作戦
／のぼり旗、ポスター
- 2) みんなつながろ、トモダチ作戦
／のぼり旗、たすき、ポスター
- 3) 「小さな親切」実行章

- ／実行内容が海外の方との交流の場合、特別バッジを贈呈
- 4) 特別テーマの設定
 世界との出会い～ありがとう、どういたしまして～
- 5) 特別テーマの設定
 世界との出会い～ありがとう、どういたしまして～

期 間 平成 31 年 4 月 ～令和 2 年の 2 年間限定

13. その他

1) 各地域の親切運動支援

- 地方活動助成費の交付 6月交付
 総額 8,475,000 円 (平成 29 年度会費収入の 12%)
- 全国地方本部事務局長会議を開催
 [実施概要]
 と き : 平成 31 年 2 月 15 日 (金) 13:00~17:00
 と ころ : ベルサール飯田橋駅前 2 階会議室
 出席者 : 35 名 / 府県本部事務局長・事務局次長・事務局担当者 25 名
 運動本部理事 5 名・事務局員 6 名
 次 第 : ・活動報告・事業計画及び伝達事項
 ・東京 2020 に向けた「小さな親切」運動の取り組み
 ・地域組織の活動 / 大分県本部、山陰本部、広島県本部
- 地域組織の各種会合への講師派遣、会議出席等
 講師派遣 4 回 総会・会議等 23 回

2) 各種パンフレット、ポスター等の作製

- 団体会員子ども用バッジのキャラクター使用期限が当該年度末に迫っていることから、第 37 回理事会 (9 月 7 日開催) にて審議した結果、大人用子ども用 2 種類だった団体会員バッジを大人用 1 種類に統一することに決定。平成 31 年 4 月 1 日より使用を開始する。

[実施概要]

基本資料	基本パンフレット	10,000 部・三つ折りしおり	10,000 部
	八か条カード	30,000 部・実行章パンフレット	10,000 部
作品集 (作文コンクール&はがきキャンペーン合併版)			3,500 部
会員バッジ等	団体会員バッジ		5,000 個

収益事業

1. はがきキャンペーン作品の書籍化

- 7 月 5 日 (木)、3 年ぶりに単行本 (はがきキャンペーンに寄せられた親切にまつわる体験 110 編を収載) が発売された。

- 単行本の発行は印税につながることから、はがきキャンペーンの応募者層の拡大を図るとともに、新たな企画での書籍化も検討したい。

作品名：「やさしさにつつまれる 小さな物語」

発行：(株)河出書房新社

部数：7,000部

価格：1,404円（税込・送料別）

2. 「小さな親切」運動グッズの販売

- グッズを運動のPRに使用する目的での購入には、特別価格を適用した。

〔実施概要〕

ボールペン @100円（PR用販売価格@60円）

クリアファイル @50円

不織布バッグ @200円（PR用販売価格@180円）

※会員には割引を行い、会員特典を設定した。

※クリアファイルは、地域組織には県本部3箱、支部1箱の上限を設けて無料提供（送料1箱550円は組織負担）。上限を超えた場合は上記価格で販売した。

<販売数>・ボールペン 8,247本 / 499,100円
・クリアファイル 3,841枚 / 173,350円
・不織布バッグ 939枚 / 169,400円

その他事業

1. 総会・理事会

1) 第8回社員総会

とき：平成30年6月8日（金）14:00～16:00

ところ：ベルサール飯田橋駅前 2階会議室

2) 理事会

4回開催 / 第35回（5月18日）・第36回（6月8日）

第37回（9月7日）・第38回（平成31年2月8日）

東京オリンピック・パラリンピック準備委員会

5回開催 / 第4回（4月17日）・第5回（7月6日）・第6回（9月7日）

第7回（12月14日）・第8回（平成31年2月8日）

2. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱

当該年度は委嘱者なし

3. エコキャップ収集運動

地域組織の自主事業として展開

主な地域組織：福島県本部、京都府本部、山陰本部、香川県本部、
北海道函館支部、広島県三原支部、山口県長門支部など

4. 心の国際交流

地域組織の自主事業として展開

広報活動

1. WEB サイトによる情報発信

公式 WEB サイト、Facebook、YouTube、Twitter、Instagram 等を通じて、地域組織の周年事業や実行章贈呈式情報、6月13日の運動スタートの日情報などを発信。

2. メディアへの情報提供

地域組織や、全国の活動を、メディアに発信するため、「『小さな親切』活動レポート2017」として、事業内容と共に、前年度の各地の活動の様子を伝える資料を作成。各地のメディアに送付した。

寄 附

(平成31年3月31日現在)

寄附をされる方の希望用途は、おおむね表彰活動事業、親切運動全般。当該年度は、情報誌を読んだ方、紙芝居を贈呈した団体等からの寄附が微増した。

寄 附 者	27名
金 額	725,463円

※「平成30年度寄附金及び事業協賛金一覧」を28頁に掲載

見舞金

平成30年西日本豪雨災害見舞金の募集を行った。

受付期間：平成30年7月11日(水)～同年9月25日(火)

見舞金総額：2,981,000円 / 県本部、支部、団体会員等19件

お届け先：特に人的被害の大きかった被災県の県本部に10月末に送金

広島県本部	1,581,000円
岡山県本部	1,000,000円
愛媛県本部	400,000円